

ナノ粒子分散機(高圧乳化分散)の 基礎とスケールアップ技術

～分散総論を紐解く～

◆日時: 2018年02月07日(水) 10:30～16:30

◆会場: ドーンセンター 4F 大会議室3

◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、昼食、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき**47,250円**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: (株)美粒 代表取締役 中野 満 氏

分散の基礎から、それぞれに応じた装置の原理、そして、乱れと制御のはなし、なぜ、スケールアップができないのか、その理論的な実証、そして、エマルジョンデータからみる、従来の盲点。乱流の反対の概念、それは層流ではなく、美流という新しい概念、それを、データをもとに、説明します。

1. 分散の定義

1-1 粉碎、解砕、乳化、剥離、解織、親和、溶解

2. 力と色々な装置との関係

2-1 力の定義、縦方向 (衝突)

2-2 力の定義、横方向 (せん断)

3. 分散の基礎

3-1 力のかかり方

3-2 濡れ性と分散性空洞化との関係

4. 空洞化現象と力としてのキャビテーションの差異

(従来の装置の盲点、ここがあいまいだから、すべてがあいまいになる)

5. 従来の分散装置の問題点

6. 新しい分散理論、乱流と美流との差異

美粒システムとは

7. 新しい制御のポイント

7-1 従来の装置との差異

7-2 乱れの制御と効率化

8. 新しい分散のスケールアップ理論

なぜ、ミキサーでも高圧乳化装置でも

スケールアップができなかったのか

実証データをもとに、説明

乱さなければ(美流条件なら)

粒子径とノズル径(クリアランス)は関連する

粒子径と活性剤とも関連する

粒子径とパス回数とも関連する

9. 費用対効果の高いスケールアップ、量産機の条件

10. イノベーションの条件

10-1 市場性と量産性、費用対効果、

10-2 界面活性剤(分散剤)と美流条件の最適化

費用対効果とは

10-3 リニア的な変化と指数関数的な変化

圧力が倍になると、ストレスは10倍かかる

【質疑応答・名刺交換】

『ナノ粒子分散機【大阪開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール
 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要な事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>